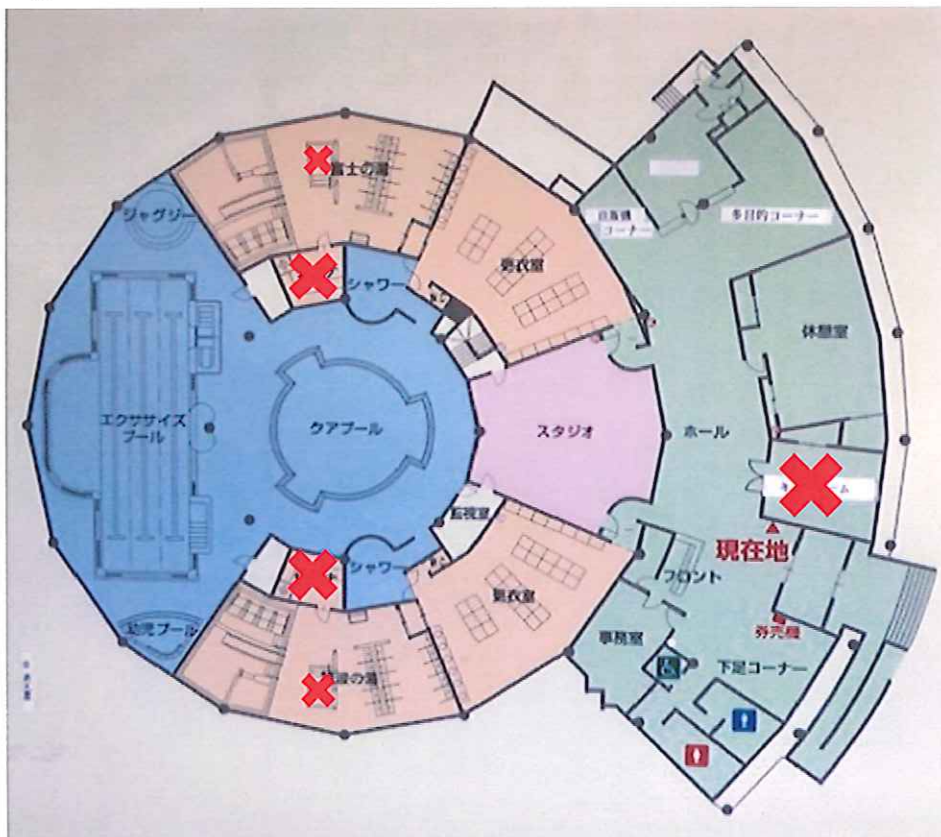


熊谷市立健康スポーツセンターにおける営業再開時のガイドライン

【利用者について】

- ・入館前に施設利用時の注意事項を理解してもらったうえで入館してもらうため、理解が得られない、または体調が思わしくない場合は施設利用を控えていただく
※事前にホームページに掲載し、入り口付近に同様のものを掲示しておく

【利用可能エリア】



《利用可能エリア》

下足コーナー
フロント（エントランス）
休憩室（和室）
多目的コーナー
自販機コーナー
更衣室
浴室（水風呂とサウナを除く）
プールエリア
スタジオ（トレーニングルーム）

《利用禁止エリア》

キッズルーム
水風呂
サウナ

※利用者混雑を避けるため当面の間営業時間を10:00～18:00(最終受付17:00)に短縮

※入場規制は必要に応じて行う（利用者100人ほどが目安）

【エリア別の対策】

～ 受付・フロント ～

- ・ビニールカーテンもしくはパーテーションを設置して飛沫感染を防ぐ
- ・接触感染を防ぐため、お金や券のやり取りはトレイにて行う
- ・利用者が触れる可能性のあるところはこまめに消毒する
- ・空調設備の稼働と窓や自動ドアの開放によって換気を徹底する
- ・正面玄関の階段は使用せず、スロープにて入館してもらう（混雑に備えて並ぶ際に目印となるテープを足元に貼り、密にならないように促す）
- ・当面は風除室にて入館受付を行う（手順は以下の通り）

《入館受付の手順》

- ①入り口に設置してある消毒液で手を消毒してもらう
- ②風除室にて体温測定を行う ※非接触で即時測れるもの
 - 37.5°C未満→チェックシートを記入してもらい入館時間を記録
(チェックシートは施設側にて保管)
(券をお持ちでない方は券売機にて券を購入→下足ロッカーに履物を入れる→フロントへ券を提出しご利用いただく)
 - 37.5°C以上→入館はご遠慮いただく（感染症法によると37.5°Cから発熱とのこと）
- ③退館時に受付にお名前を申告していただき、退館時間をチェックシートに記録する

～ トイレ（エントランス・更衣室） ～

- ・換気設備を常に稼働させ換気を徹底する
- ・ハンドソープを置き、常に利用者が消毒できるようにしておく
- ・清掃と消毒はこまめに行う（不特定多数が触れる箇所は特に行う）
- ・ハンドドライヤーは当面使用中止にして、代わりに使い捨てのペーパータオルを置く
- ・トイレは蓋を閉めて流すように促す案内POPを掲示する

～ ホール（休憩スペース）・和室 ～

- ・机と椅子の数を減らし、密にならないようにする
- ・密にならないように促すPOPを掲示
- ・リモコンは受付で管理し、必要に応じて操作を行う

～ キッズルーム ～

- ・部屋の対象者が子供であり、おもちゃ等への接触回数も多いため感染リスクを考慮し、当面の間使用を中止

～ 自販機コーナー ～

- ・多目的コーナーの窓を開け、換気を徹底する
- ・自販機のボタンや商品取り出し口などの消毒をこまめに行う

～ 更衣室・浴室 ～

- ・ロッカーやキーバンド、トイレ、洗面台など不特定多数が接触するものが多いため、こまめに清掃や消毒を行う
- ・使用できるロッカーを間引き、密を防ぐ
- ・ロッカーにマグネットシートを張りつけ、表に【消毒済】裏に【未消毒】と記入し、お客様が使用したら【未消毒】にしてもらい、スタッフが消毒を【消毒済】にして、消毒されているかどうかを明確に示す（わかりやすく案内POPを作成し掲示する）
- ・洗面台の備品はドライヤーとティッシュペーパー、ハンドソープ、ペーパータオルを設置する（化粧品サンプル、綿棒は感染拡大予防のため撤去）
- ・扇風機と空調設備の稼働や窓の開閉により、室温に注意しながら換気を徹底する
- ・長イスは両端2名で座るよう真ん中部分は使用中止にする
- ・脱水機は当面使用禁止
- ・寝湯の利用箇所を間引く（4→2箇所 両隣りは誰もいないようにする）
- ・サウナは出入口以外の換気口が無く飛沫感染の恐れがあるため当面利用停止
- ・水風呂は利用停止で営業再開するが、利用者の要望があれば利用再開する予定
- ・利用人数は20名前後

～ プール ～

- ・マスクが着用できないため、会話は控えてもらう
- ・クアプールの寝台を間引き、利用可能な台数を減らす（4→2台）
- ・ジャグジーは定員2名にし、密にならないようにする
- ・休憩時間は利用者全員がプールサイドに上がってもらう（クアプールとジャグジーの入水も禁止）
- ・利用人数は30名前後

～ トレーニングルーム ～

- ・トレーニングルーム内でもマスク着用を原則とする
- ・初回講習会を行わず、新規の利用者はお断りする
- ・受付に消毒液を置き、利用許可証を提出の際に必ず消毒してもらう
- ・有酸素マシンは使用可能なマシンを間引く（使用不可なマシンは電源オフ）
- ・空調設備やサーキュレーターにて換気を徹底する
- ・利用者が常に消毒液を使えるよう要所に設置しておき、マシン使用後は消毒するよう協力を求めるPOPを掲示する（各マシンにあるタオルは毎日交換する）
- ・利用人数は15名前後

【教室事業について】

当面は行わない予定（大里地域以外の方も利用できるようになってから状況を鑑みて再開予定。その際は先生方と相談し感染拡大の恐れが無いように準備のうえ再開する）